

競技注意事項

※【競技会参加校（チーム）の顧問（監督）の皆様へ】を必ず確認して参加すること。

1 競技規則について

- (1) 本大会は、2020年度日本陸上競技連盟規則及び本大会申し合わせ事項によって行う。
- (2) 引率責任者は団体の場合は校長が認める当該校の副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、実習助手、常勤講師、部活動指導員（学校教育法施行規則第78条の2に示された者）又は校長とする。

2 競技者の招集について

- (1) 競技者招集所は、正面玄関外側の100mスタート方向に設置する。
- (2) 招集時間

競技種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技 予選	競技開始30分前	競技開始15分前
トラック競技 決勝	競技開始20分前	競技開始10分前
走高跳	競技開始70分前	競技開始60分前
棒高跳	競技開始120分前	競技開始110分前
走幅跳・三段跳	競技開始60分前	競技開始50分前
円盤投・やり投・ハンマー投・砲丸投	競技開始70分前	競技開始60分前

(3) 招集の手順

- ① 競技者は出場種目の招集時刻（点呼開始時刻）に招集所で点呼を受けて、競技者係の指示によりスタート地点またはピットに移動する。
- ② 代理人による最終点呼は認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を最初の種目の招集時に競技者係に申し出ること。
- ③ 棄権をする競技者は、本人または引率教員が棄権届用紙（招集所に準備）に記入し、招集開始時刻までに招集所に提出すること。
- ④ リレーのオーダーについては、メンバー及びオーダーの変更の有無に関わらず、各ラウンド毎に招集完了時刻の1時間前までにオーダー用紙（招集所に準備）を招集所競技者係に提出すること。また、招集は規定どおりに受けること。オーダー用紙提出後の変更はできない。怪我等の特別な理由がある時は本部へ申し出る。
大会のドクターかトレーナーの診察を受け、変更を認めることがある。招集時間完了後は変更できない。
リレー種目で大会ドクターかトレーナーの診察を受け変更を認められ不出場になった選手は、翌日に大会へ参加する場合、再度大会ドクターかトレーナーの診断を受け出場する事ができる。
- ⑤ リレーのエントリー以外からリレー出場の場合は、オーダー用紙の氏名の右にエントリーした他種目名を記入すること。
- ⑥ 混成競技の招集は、両日共に第1種目は競技者または代理人が招集所の招集用紙に○印をつける。その後の種目についても招集所の招集用紙に○印をつける。

3 アスリートビブスについて

- (1) 出場者はアスリートビブスを胸部と背部につけて出場しなければならない。
- (2) トラック競技者は、招集所で競技者係から渡されたレーンナンバーカードを右腰やや後方につけること。
- (3) 跳躍競技の出場者は、胸部または背部のいずれかを除いてもよい。

4 競技について

- (1) 走高跳、棒高跳の練習及び競技中のバーの上げ方は、次のとおりとする。ただし、安全面・気象条件等により変更することもある。

男子走高跳 1.70・1.85(練習) 1.70 1.75 1.80 1.85 1.90 (以降3cm)

女子走高跳 1.30・1.45(練習) 1.35 1.40 1.45 1.50 (以降3cm)

男子棒高跳 2.80・3.50・4.30(練習) 2.80 3.00 3.20 3.40 3.60 3.70 (以降10cm刻み)

女子棒高跳 2.00・2.50・3.30(練習) 2.00 2.20 2.40 2.60 2.80 2.90 (以降10cm刻み)

混成競技走高跳 A・Bピットの選択は、競技者が当日現地にて行う。

男子八種 Aピット 1.55(練習) 1.55～(5cm刻み)～1.70 1.73(以後3cm刻み)

Bピット 1.25(練習) 1.25～(5cm刻み)～1.70 1.73(以後3cm刻み)

女子七種 Aピット 1.30(練習) 1.30～(5cm刻み)～1.40 1.43(以後3cm刻み)

Bピット 1.05(練習) 1.05～(5cm刻み)～1.40 1.43(以後3cm刻み)

- (2) 当該競技に参加する競技者以外は、競技場内に立ち入らないこと。

- (3) スパイクシューズのピンの使用は9mm以下。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。

厚底シューズについては、競技のスタート地点で申し出ること。

※福岡陸上競技協会ホームページに掲載されている【「WA規則第143条（TR5：シューズ）のルール再改定における日本国内での適用」を受けて今後の福岡陸上競技協会主催大会のWA規則の適用について】を確認して下さい。

- (4) トラック競技において、セパレートレーンを使用する種目については、フィニッシュライン通過後も自分のレーン（曲走路）を走ること。

- (5) 長距離・競歩種目については、気象の状況により給水を設けることがある。

- (6) 4×400mリレーの第3・4走者は、競技役員の指示に従い前走者が200mスタート地点を通過した順位で、内側から並び待機する。その後に順位に変動があっても並び順を変えてはならない。尚、バトンを受け渡した後の走者は、後続の他チーム走者の走路を妨害しないように留意すること。

- (7) リレーに出場のチームは、各校同一のユニフォームを着用すること。

- (8) 通信機器（携帯電話・トランシーバー等）、ラジオ、音楽プレーヤー等の競技場内への持ち込みは禁止する。競技場内に持ち込む荷物の中にも入れないこと。

5 競技の抽選及び番組編成について

- (1) トラック種目における準決勝・決勝へのプラス進出者については、該当競技者の最下位に同記録が複数出た場合、写真判定により写真を拡大し「着差あり」まで判定する。それでも決まらない場合は「同着」とし、レーンに余裕がある場合には次のラウンドに進出する。レーンに余裕がない場合は抽選する。ただし、1500m以上の長距離種目での同記録者は、全員次のラウンドへ進むことができる。

- (2) 抽選のアナウンス後5分経過しても抽選にこない場合は棄権とみなす。対象者は特にアナウンスに注意すること。抽選は本部の番組編成席で行う。

6 競技用具について

- (1) この競技会で使用する用器具は、主催者で用意した競技場備え付けのものを使用しなければならない。

- (2) やりについては、個人持参のものを主催者で検査のうえ使用を認める。ただし、共通使用とする。

- (3) やりの検査は、第4ゲート用器具倉庫にて時間（通告する）を決めて行う。

7 練習について

- (1) フィールド競技（ハンマー投を除く）の練習は、招集後に競技役員の指示により本競技場内で行う。
- (2) 雨天練習場
使用は禁止する。（立ち入り禁止）
- (3) 投てき競技（ハンマー投を除く）の練習は、本競技場内のみとし、本競技場外での練習は厳禁とする。
- (4) ハンマー投の練習については、投てき練習場で行う。投てき練習場には競技者及び引率者以外は立ち入らないこと。
- (5) 投てき練習場での練習に際しては引率者立ち会いのもと、事故防止に充分注意し練習すること。

8 表彰について

- (1) 表彰は行わない。第3位までの入賞者に賞状を渡す。各校顧問は本部に受け取りに来る。
- (2) 学校対校は総合の部・トラックの部・フィールドの部のそれぞれ第3位までに賞状を渡す。各校顧問は本部に受け取りに来る。
- (3) 入賞者の得点は、1位6点、2位5点、以下4・3・2・1点とする。

9 新人九州大会について

- (1) 本大会において上位3位以内の競技者については、10月16日（金）～18日（日）トランスコスモスタジアム長崎陸上競技場で開催される全九州新人陸上競技対校選手権大会の出場権を得る。ただし、棒高跳・走高跳については3位までの競技者3名が出場権を得る。なお、各種目共、同一校においての出場者は2名までとする。

10 その他

- (1) 記録については通告をするが、別にフィニッシュライン側の競技場外側に掲示する。
- (2) スタンドにはテントを設置してもよいが、風等でとばされないように固定すること。
- (3) 各校の応援用横断幕は、メインスタンドには張らないこと。のぼり旗についてはメインスタンド最上部後方フェンスにくくりつけてもよい。
- (4) フィールド競技を行っている際、その付近での応援は配慮をもって応援する。
- (5) 更衣室は更衣のみに使用し物は一切置かない。
- (6) ゴミについては、各学校・個人で責任を持って持ち帰ること。
- (7) ビデオを見せる場合は、スタンドからのみ認める。吊り下げや手渡し、競技者が視聴のため競技区域から離脱する行為は認めない。
- (8) 各校の控え所については、譲り合って使用し、必要以上の広さを確保専有しないこと。
- (9) 各校の控え所の目印等で、紙のガムテープを床に貼らないこと。
- (10) 雨天練習場の使用は禁止する
- (11) 声を出しての応援は禁止、また応援者同士の距離を2mほど開ける。また、タイム読みも禁止する。
拍子での応援は可。
- (12) 更衣室は更衣のみに使用し、私物は一切置かないこと。競技終了後は速やかに更衣をすませ、更衣室を出ること。
100mゴール付近の更衣室のみ利用可。